

平成30年度 開講

# コミュニティソーシャルワーカー（CSW） スキルアッププログラム 募集要項

- ★ 文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)認定事業
- ★ 厚生労働省「専門実践教育訓練給付金」対象講座



後 援：宮城県 仙台市 (社福)宮城県社会福祉協議会 (社福)仙台市社会福祉協議会  
(社福)石巻市社会福祉協議会 (社福)気仙沼市社会福祉協議会 (社福)名取市社会福祉協議会  
(社福)多賀城市社会福祉協議会 (社福)岩沼市社会福祉協議会 (社福)登米市社会福祉協議会  
(社福)栗原市社会福祉協議会 (社福)東松島市社会福祉協議会 (社福)大崎市社会福祉協議会  
(社福)富谷市社会福祉協議会 (社福)大河原町社会福祉協議会 (社福)柴田町社会福祉協議会  
(社福)山元町社会福祉協議会 (社福)七ヶ浜町社会福祉協議会 (社福)利府町社会福祉協議会  
(社福)大和町社会福祉協議会 (社福)大郷町社会福祉協議会 (社福)大衡村社会福祉協議会  
(社福)色麻町社会福祉協議会 (社福)加美町社会福祉協議会 (社福)涌谷町社会福祉協議会  
(社福)美里町社会福祉協議会 (社福)女川町社会福祉協議会 (社福)南三陸町社会福祉協議会  
仙台市地域包括支援センター連絡協議会

## 趣 旨

本プログラムは、現場の課題に直結する本格的な授業内容を通して、人口減少・超高齢社会の、地域福祉のキーパーソンとなるコミュニティソーシャルワーカー（CSW）のスキルアップを目指すものです。

少子高齢社会の進展や家族意識の変化等の多くの要因が重なり、私たちの暮らす社会情勢は大きく変化してきました。そのような中においては、地域の課題解決のため、住民の参加が必要不可欠であり、地域におけるコミュニティが果たす役割の重要性が増してきています。その地域コミュニティの調整役として注目されるのが、「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」です。

そこで、東北学院大学では、実践力を持って社会の要請に応えられる人材の養成のための「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）スキルアッププログラム」を平成 28 年 4 月より開講いたしました。今年で 3 年目の開講を迎えることとなりましたが、社会福祉協議会職員、NPO 法人職員、民間企業社員、学生等の皆様に受講いただき、大変好評いただいております。これまでコミュニティソーシャルワーカー（CSW）として活躍されている皆様、これからコミュニティソーシャルワーカー（CSW）としてのご活躍を考えている皆様の受講を、心よりお待ちしております。



## 募集要項

応募資格	高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または大学を受験できる資格を取得した方。 加えて、就業経験等を有し、地域とそこに住む人の未来作りのために、関係者の協働を促進する気持ちをお持ちの方。
募集定員	20 名
履修期間	1 年間（平成 30 年 4 月開講～平成 31 年 3 月修了）
講義時間	1 コマ 90 分 原則として土曜日 4 コマ（計 360 分） ※今年度は年間 153 時間の開講を予定。
検 定 料	10,000 円 ※納付された検定料は返還いたしません。
受 講 料	100,000 円 （但し、学生の場合は 60,000 円とする）※納付された受講料は返還いたしません。
出願期間	平成 30 年 1 月 22 日（月）～4 月 4 日（水） ※土・日・祝日を除く、受付時間：9 時～16 時
出願方法	以下の出願書類と検定料を合わせて 持参 または 郵送 にて出願。 <出願書類> 1) 履修生願書（所定用紙） 2) 最終学歴を証明する各種証明書
選考方法	書類審査による。
合否通知	平成 30 年 4 月 9 日（月）以降、ご本人様宛に合否通知を郵送予定。
受講手続	平成 30 年 4 月 10 日（火）～4 月 17 日（火）の間に受講料を納付。
開 講 式	平成 30 年 4 月 21 日（土）開催予定 ※詳細は別途ご案内。
修了要件	必修科目（57 時間）、選択科目（63 時間以上）の履修。 各科目において提出するミニツツペーパーの点数が合格ライン以上であり、報告会で合格の評価を得ること。
修 了 式	平成 31 年 3 月 16 日（土）予定 ※修了要件を満たした修了生に対し、履修証明書を交付します。

# 授業科目、講師

分類	科目名	講師	時間		
必修科目	基礎科目	地域福祉の時代とコミュニティソーシャルワーク	阿部重樹（東北学院大学経済学部教授）	3	
		コミュニティソーシャルワークⅠ	村山くみ（東北福祉大学総合福祉学部講師）	3	
		コミュニティソーシャルワークⅡ		3	
		ケースワーク	竹之内章代（東北福祉大学総合福祉学部准教授）	3	
		社会保障制度の新たな動向	阿部裕二（東北福祉大学総合福祉学部教授）	3	
	必須理論	データによる社会調査・分析（社会疫学）Ⅰ	鈴木寿則（仙台白百合女子大学人間学部准教授）	3	
		データによる社会調査・分析（社会疫学）Ⅱ		3	
		データによる社会調査・分析（ライフストーリー聞き取り）Ⅰ	黒坂愛衣（東北学院大学経済学部准教授）	3	
		データによる社会調査・分析（ライフストーリー聞き取り）Ⅱ		3	
		地域の施策と資源理解Ⅰ	西塚国彦（（社福）宮城県社会福祉協議会震災復興・地域福祉部次長）	3	
		地域の施策と資源理解Ⅱ	安倍邦明（（社福）仙台市社会福祉協議会地域福祉課課長）	3	
		地域社会とCSR（企業の社会的責任）	矢口義教（東北学院大学経営学部准教授）	3	
		組織運営	和田正春（東北学院大学教養学部教授）	3	
		協働の理論	松崎光弘（東北学院大学地域協働教育推進機構特任教授）	3	
		地域福祉活動計画Ⅰ	高橋賢一（（社福）宮城県社会福祉協議会地域福祉部次長）	3	
			佐々利春（（社福）富谷市社会福祉協議会事務局次長）		
		地域福祉活動計画Ⅱ	安倍邦明（（社福）仙台市社会福祉協議会地域福祉課課長）	3	
		地域福祉活動計画Ⅲ	増子正（東北学院大学教養学部教授）	3	
		実践技法	地域福祉とファンドレイジングⅠ	久津摩和弘	3
			地域福祉とファンドレイジングⅡ	（一社）日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET 理事長	3
協働の手法Ⅰ	遠藤智栄（地域社会デザイン・ラボ代表）		3		
			3		
ファシリテーションの実際とワークショップ運営Ⅰ	菊池広人（東北学院大学地域共生推進機構特任准教授）		3		
ファシリテーションの実際とワークショップ運営Ⅱ	渡邊一馬（（一社）ワカツク代表理事）		3		
ファシリテーショングラフィックス	石塚直樹（（一社）みやぎ連携復興センター代表理事）		3		
災害ケースワーク	北川進（（社福）宮城県社会福祉協議会震災復興支援局主任主査）		3		
健康格差論	鈴木寿則（仙台白百合女子大学人間学部准教授）		3		
傾聴の技法	阿部重樹（東北学院大学経済学部教授）		3		
特論演習	特論演習ⅠA（高齢者支援と地域社会）		折腹実己子（仙台市地域包括支援センター連絡協議会会長）	3	
	特論演習ⅠB（高齢者支援と地域社会）			3	
	特論演習ⅡA（生活困窮者支援と地域社会）		佐藤圭司（（一社）パーソナルサポートセンター主任相談支援員）	3	
	特論演習ⅡB（生活困窮者支援と地域社会）			3	
	特論演習ⅢA（子育て支援と地域社会）		小岩孝子（（特非）FORYOU にこここの家理事）	3	
	特論演習ⅢB（子育て支援と地域社会）	3			
	特論演習ⅣA（障害者支援と地域社会）	伊藤清市（（特非）仙台バリアフリーツアーセンター理事長）	3		
	特論演習ⅣB（障害者支援と地域社会）		3		
	特論演習ⅤA（発達障害者支援と地域社会）	皆川美雪（東北学院大学就職キャリア支援課臨床心理士）	3		
	特論演習ⅤB（発達障害者支援と地域社会）		3		
	特論演習ⅥA（精神障害者支援と地域社会）	志村祐子（東北福祉大学総合福祉学部准教授）	3		
	特論演習ⅥB（精神障害者支援と地域社会）		3		
	特論演習ⅦA（在日外国人支援と地域社会）	郭基煥（東北学院大学経済学部教授）	3		
	特論演習ⅦB（在日外国人支援と地域社会）		3		
	特論演習ⅧA（NPOと地域社会）	紅邑晶子（オフィス Beni 代表）	3		
特論演習ⅧB（NPOと地域社会）	3				
事例研究	事例研究ⅠA（まちづくりとコミュニティソーシャルワーク：仙台市を事例として）	穴戸充（（社福）仙台市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係長）	3		
	事例研究ⅠB（まちづくりとコミュニティソーシャルワーク：南三陸町を事例として）	本間照雄（東北学院大学地域共生推進機構特任教授）	3		
	事例研究ⅡA（石巻市を事例としたコミュニティソーシャルワーク）	阿部由紀（（社福）石巻市社会福祉協議会地域福祉課課長補佐）	3		
	事例研究ⅡB（美里町を事例としたコミュニティソーシャルワーク）	浅野恵美（（社福）美里町社会福祉協議会地域福祉課課長）	3		
	事例研究ⅢA（災害時の住宅政策とコミュニティソーシャルワーク）	齊藤康則（東北学院大学経済学部准教授）	3		
	事例研究ⅢB（市民セクター／社会的経済の展開とその課題）		3		
必	中間報告会（グループワーク）	本間照雄（東北学院大学地域共生推進機構特任教授）	3		
	最終報告会（グループワーク）		3		

※平成30年1月1日現在。都合により授業科目、講師は変更する場合がございます。

## 開講スケジュール

開講式 第1回	4月21日(土)	第8回	7月14日(土)	第15回	9月29日(土)	第22回	12月15日(土)
第2回	4月28日(土)	第9回	7月21日(土)	第16回	10月6日(土)	第23回	12月22日(土)
第3回	5月12日(土)	第10回	8月4日(土)	第17回	10月20日(土)	第24回	1月12日(土)
第4回	5月19日(土)	第11回	8月18日(土)	第18回	10月27日(土)	第25回	1月26日(土)
第5回	6月9日(土)	第12回	8月25日(土)	第19回	11月10日(土)	第26回 (最終報告会)	2月23日(土)
第6回	6月23日(土)	第13回	9月8日(土)	第20回	11月17日(土)	修了式	3月16日(土)
第7回	6月30日(土)	第14回	9月15日(土)	第21回	12月1日(土)		

本プログラムは、厚生労働大臣指定の「専門実践教育訓練指定講座」です。

専門実践教育訓練の指定を受けた講座を受講した場合に、雇用保険の加入等所定の条件を満たしている労働者・事業主はそれぞれ給付・助成が受けられます。

【社会人のみなさま】 専門実践教育訓練給付金／教育訓練支援給付金の支給

※詳細はハローワークまでお問い合わせください。

【企業のみなさま】 人材開発支援助成金の支給

※詳細は各地域の労働局までお問い合わせください。



【お問い合わせ】

東北学院大学 学長室 地域共生推進課

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋 1-3-1

TEL 022-264-6562 / FAX 022-264-6522

E-mail csw-pro@mail.tohoku-gakuin.ac.jp



東北学院大学  
TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY

